企業ガバナンス②

コンプライアンスは持続的な発展のための大前提

日東工業は設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を築いてきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力の積み重ねによって作り上げた宝物です。この宝物は日東工業グループにもしっかりと受け継がれています。これらを一層高め、後世に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務です。
不祥事を起こせば、これまで築き上げてきた日東工業グループのブランド価値、信用・信頼を一気に損なうことになりかねません。コンプライアンスの徹底は、日東工業グループが持続的に発展していくために欠くことのできない大前提であると考えています。

コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配付しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。

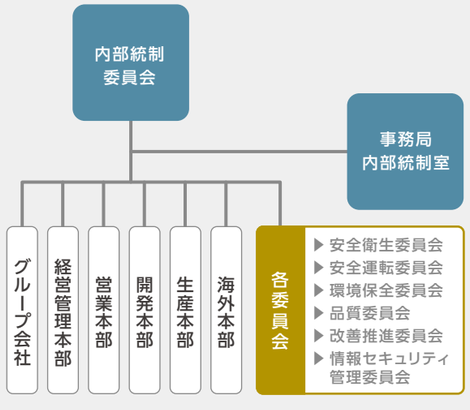
通報窓口の設置

企業倫理綱領に反する行為等を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」と海外対応も可能な社外相談窓口「社外ホットライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏えいすることがないよう徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

内部統制システムの構築

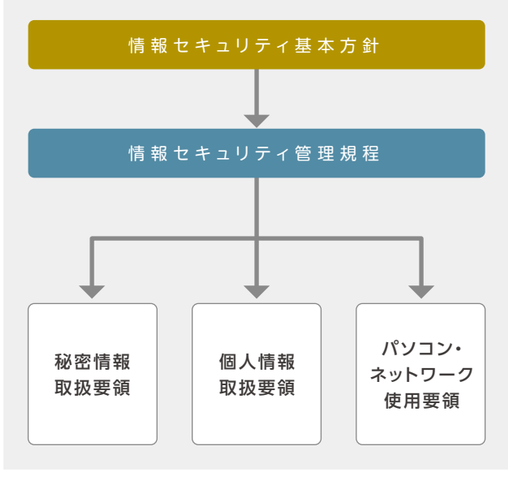
取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。
グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」「情報セキュリティ管理委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。

■内部統制委員会 組織図



情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。
情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報はもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針の策定および情報セキュリティ管理委員会の設置など情報セキュリティ対策を実施しています。また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的に情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。



社会貢献① ～地域に”寄り添う”企業へ～

日東工業では、地域社会の一員として地域に密着した社会貢献活動を実施しています。
未来を担う子どもたちへの教育や、地域の方々が住みやすいまちづくりを実施することで、
さまざまなステークホルダーの満足度向上を図り、企業価値を高める活動に取り組んでいます。

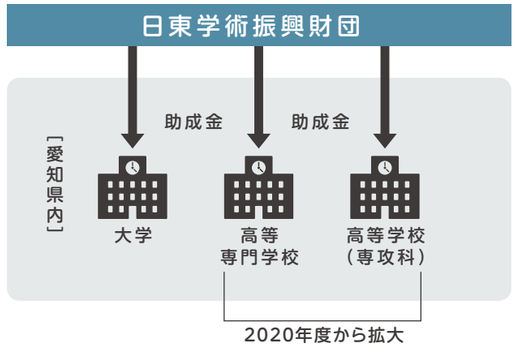
NITOが取り組む理由 ▶
- 子どもたちへの理科教育
- 住みやすい“まち”づくり
- 地域社会とのCONNECT!
- 地域を元気に活性化！

Pick Up! ……> 公益財団法人 日東学術振興財団

日東学術振興財団とは？

1984年に日東工業の創業者である加藤陽一氏を中心に「研究者の手助けを通じて地域のお役に立てれば幸い」との想いから設立されました。愛知県内の大学で独創的な研究を行う研究者と、高等学校の専攻科および高等専門学校等の研究プロジェクトに助成を行っています。

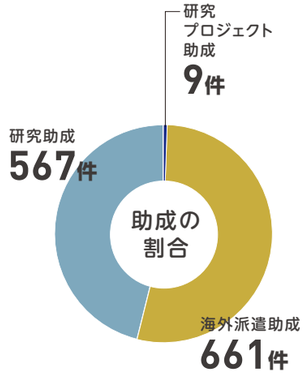
事業
(1)研究者への助成
(2)研究者の海外派遣
(3)研究プロジェクトへの助成



助成とはどのようなものか？

対象を愛知県内とすることで密度を濃くしており、工学・医学・法学・経済・経営・芸術と幅広い分野の研究者を助成しています。
1995年には、ノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学の天野浩教授も助成を受けられています。
日東学術振興財団は、地域の学問・芸術の発展に貢献したいとの想いから助成を続けております。

2022年度の助成実績
- 研究助成 …… 51件
- 助成金額……4,980万円
- 海外派遣助成 ……8件
- 研究プロジェクト助成件数……3件

■助成実績

- 総助成テーマ数 **1,237件**
- 総助成金額 **6億5千万円**